

2023  
MCP  
award特別賞  
京セラコミュニケーションシステム株式会社

## 浸水検知サービス「SUIJIN」

## 浸水地域を「面」で見える化し、避難誘導を迅速に

豪雨発生時に住民を適切に避難させるには、浸水状況の面的な把握が欠かせない。これまでの機器は水位での河川の氾濫監視がメインで、電源工事をはじめ各種費用もかかるため、浸水想定地域を「面」で広範囲に監視することが難しかった。また自治体の職員が現地に向かって確認していると避難誘導の初動が遅れてしまう。

京セラコミュニケーションシステムが提供する「SUIJIN」は、低コストかつ給電不要で簡単に設置できる浸水検知サービスである。低コスト、低消費電力、広域通信といった特長を持つSigfox通信(LPWA)を活用し低価格のデバイスを開発、浸水想定地域に「面」で設置できるようにした。

コイン電池で5年稼働可能で、電

源工事が不要である。自治体などのサービス利用者が迅速な避難誘導を行えるよう、アプリ上で浸水状況を確認できる仕様になっている。

国や都道府県での採用、さらに鉄道インフラ企業や損害保険会社での導入検討も進んでおり、より安心して暮らせるまちづくりへの貢献が期待されている。

図 浸水検知サービス「SUIJIN」の基本イメージ

